

みんなで作る園の未来!

# 保育ナビ

5

2023  
MAY  
<2/12>

人間関係がキーワード  
保育者の  
メンタルヘルスケア

特集

対談  
こどもまんなか  
社会の実現へ、  
成長過程を待てる  
保育者に

佐伯 胖 × 井桁容子

子どもへの GIFT  
恩物の世界  
第一恩物「球」

人材育成わいわい語り場Ⅱ  
学び、成長する  
チームとなるための  
同僚性づくり

巻頭

フリーベルのことは 汐見稔幸 小西貴士

スペシャル対談

こどもまんなか社会の実現へ、成長過程を待てる保育者に 4

佐伯胖 (東京大学名誉教授)  
井桁容子 (乳幼児教育実践研究家)

特集

人間関係がキーワード

保育者のメンタルヘルスケア 10

加藤由美



近年園へのニーズが多様化・複雑化し、保育者がストレスを感じる場面も年々増えています。本特集は、「保育者のメンタルヘルスケア」をテーマに、保育者がメンタルに不調を抱えることなく、いきいきと仕事のできる工夫や配慮について考えます。

はじめての、ICT活用術 24

秋田喜代美

3・4・5歳児遊びが育つ保育 26

保育者が提案するクラス活動と遊び Part II 田代幸代

0・1・2歳児の保育のきほん 30

保育者の育ち編 井桁容子

子どもへのGIFT 恩物の世界 32

和久洋三

国の動き

主

国の動きを読む！ 研究者の目2023 34

矢藤誠慈郎

地域別 持続可能な園になるために2023 36

滋賀県

『保育ナビ』が伝えたいこと

あなたの「保育の疑問」、目次から解決のヒントを探してみませんか？

新年度が始まると、新しい体制の中で雑誌を読む余裕はないかもしれません。ですが、ちょっとした休憩時に、目次の「園長」「主任」「学年リーダー」のマークが付いているコーナーや、P33の今月のテーマがわかる「INDEX」を眺めてみてはいかがでしょうか。読者の皆さまの中にある保育の疑問に応えるヒントが見つかるかもしれません。今、疑問に思っていることはなんですか？ — 『保育ナビ』編集部

## 『保育ナビ』の使い方

読む



まずは、自分で読みます。回覧したりして、園内でも各自で読みます。

話す



読んだ記事をもとに、園内で「雑談」したり「研修」をしたりしてみましょう。

保育の質の  
向上へ



読み、話すことで、園内で学び合い・語り合いが生まれ、保育の質が高まります。

マークのついているコーナーでは、園内で話し合うためのお題・ワークを用意しています。職員会議や園内研修などでご活用ください。

マークのついているコーナーは毎月、「保育ナビ倶楽部」メールマガジン（年間購読特典）にて動画のご案内を配信します。ぜひ、ご登録ください！



【今月のおすすめ】  
園長・主任・学年リーダーにおすすめのコーナーを選んでマークを表示しています。

園長 主任 学年リーダー

人材育成  
わいわい語り場Ⅱ  
北野幸子

54

「人間の育ち合い」を大事にしたい。そのための組織づくりを工夫したい。そうした工夫を実際に行っている人たちの姿と、その姿を読み解く理論を紹介します。

園 「人格」を軸とした人事と研修  
エリクソン ティール組織  
東洋思想から学ぶ  
久保健太

50

園のリーダーのための  
リスペクト型マネジメント  
子どもを真ん中に  
園づくり・まちづくり  
大豆生田啓友 安江文字

46

園 経営  
コンサルタントが読み解く  
新時代の園経営2023  
桑戸真二 鳥飼胆識

42

質を高める危機管理  
生活も保育も質を向上させよう  
脇貴志

44

巻末  
子どもと保育を思う日々から  
無藤隆

58

主 始めよう  
子どもの姿ベースの  
指導計画  
大豆生田啓友 高嶋景子

66

みんなの  
保護者対応！

65

Information・  
『保育ナビ』読者からの声

62

保育が変わる！  
保育環境の片付け  
川辺尚子

60

保育を深める  
編集委員の  
おすすめ書籍  
小林紀子

58

園は子どもだけでなく、保育者にとっても暮らしの場所です。今号は園の顔となる玄関の片付けを紹介します。園に訪れる人たちのことを思いながら、すてきな玄関にしませんか。

# こどもまんなか社会の実現へ、 成長過程を待てる保育者に

「保育ナビ」  
スペシャル  
対談

Special Talk

子どもに関する取り組みや政策を社会の真ん中に据える「こどもまんなか社会」を目指し、2023年4月にこども家庭庁が創設されるなど、国の動きが加速しています。そこで、変化の担い手である園の課題と取り組みのヒントについて、本誌の過去連載でも人気を博した幼児教育学・認知心理学者である佐伯胖先生と乳幼児教育実践研究家の井桁容子が再び、語り合います。

(対談は、2022年12月に十分な感染症対策を行い、弊社会議室で開催しました。)

様々な業界において活躍されている方々をお招きし、じっくりとお話をうかがいます。保育を捉え直そうとする際のきっかけが見つかります。

写真/渡辺 悟



聞き手

## 井桁容子

(いげた ようこ)

東京家政大学ナースリールームにて長く乳幼児保育にかかわる。2018年に退職後、フリーの乳幼児教育実践研究家として全国で保育者や保護者対象の研修会や講演を行っている。著書に『「ていねいなまなざし」でみる乳幼児保育』『子どもの見方が変わるみんなの育ちの物語』『0・1・2歳児からのていねいな保育(第2巻・第3巻)』(共にフレーベル館)など。非営利団体コドモノミカタ代表理事。

ゲスト

## 佐伯胖

(さえき ゆたか)

公益社団法人信濃教育会教育研究所所長。東京大学・青山学院大学名誉教授。専門は教育学、認知科学、幼児教育学。認知心理学研究の第一人者でもある。主な著書に『幼児教育へのいざないー円熟した保育者になるためにー』(東京大学出版会)、『子どもを「人間としてみる」ということー子どもとともにある保育の原点』(共著、ミネルヴァ書房)、訳書に『驚くべき乳幼児の心の世界ー「二人称的アプローチ」から見えてくることー』(V.レディ著、ミネルヴァ書房)など多数。

人間関係がキーワード

## 保育者のメンタルヘルスケア

## メンタルヘルス不調とは

ストレスや強い悩み、不安など、労働者の心身の健康、社会生活及び生活の質に影響を与える可能性のある精神的及び行動上の問題を幅広く含むもの。

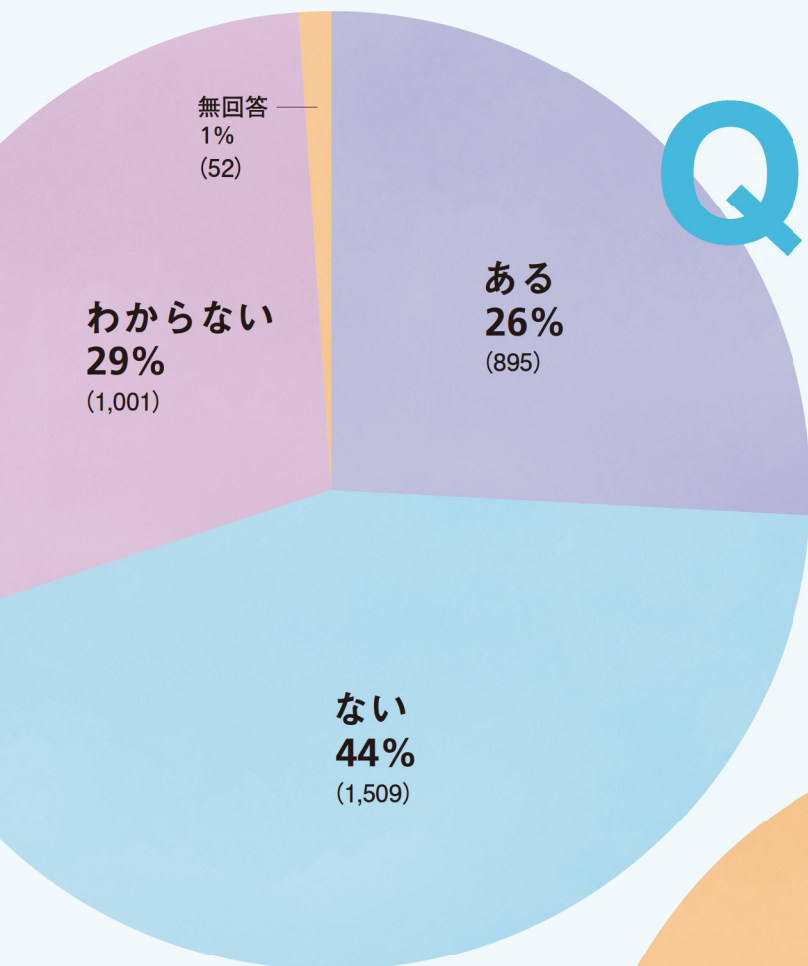
「職場における心の健康づくり～労働者の心の健康の保持増進のための指針～」(厚生労働省)より



子どもを取り巻く家族・地域・社会の環境が大きく変化するなか、園へのニーズは多様化・複雑化しています。それに伴い保育者がストレスを感じる場面も年々増えています。保育者がメンタルに不調を抱えることなく、生き生きと仕事ができるためには、どのような工夫や配慮が必要でしょうか。保育者のメンタルヘルスケアについて考えます。

監修／加藤由美 (新見公立大学准教授)

構成／こんべいとぶらねっと イラスト／くどうのぞみ

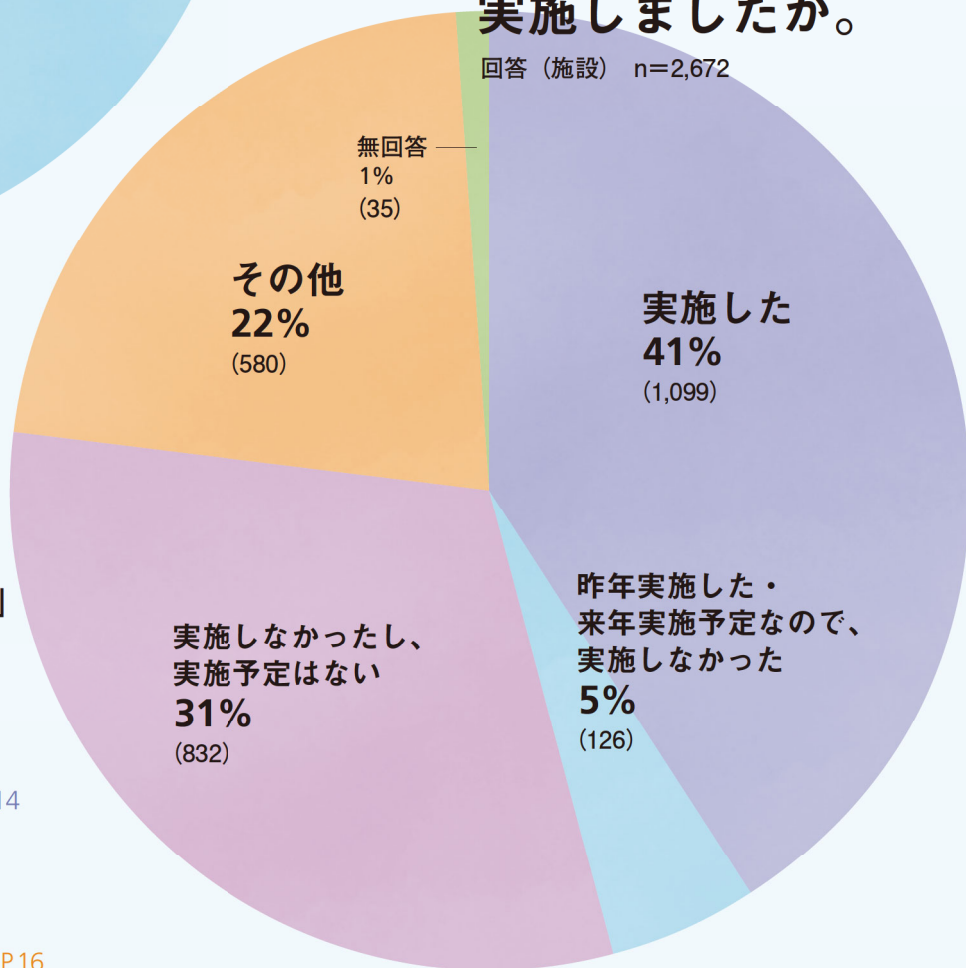


**Q** あなたの職場では、メンタルヘルスケア（精神的負担をサポートする）体制がありますか。

回答（保育士） n=3,457

**Q** この1年間に保育士のメンタルチェックを実施しましたか。

回答（施設） n=2,672



厚生労働省 補助型調査研究（平成28年度子ども・子育て支援推進調査研究事業）保育人材確保に関する調査・調査報告書より

## Contents

- 1** 保育現場の実状 ①  
「やりがいがある！」一方で「ストレスが多い！」  
保育者の仕事 …P.12  
お話：加藤由美先生
- 2** 保育現場の実状 ②  
保育者のストレスは、園にとってもリスク …P.14  
お話：加藤由美先生
- 3** 研修の提案  
心理教育プログラム  
“サクセスフル・セルフ” …P.16
- 4** 実践紹介  
コミュニケーション研修で、人間関係づくり …P.20  
社会福祉法人美知留福社会みちる小規模保育園  
お話：園長 中桐智子先生
- 5** まとめ  
今日から始めよう！  
メンタルヘルスケア …P.22

この調査が行われた平成28（2016）年度において、メンタルヘルスケアの実施率は30%に届かず、また、メンタルチェックも41%であり、高い数字とはいえません。しかし、メンタルヘルスへの関心が高まってきている現在においては、改善が見られていると期待されます。

# INDEX

カテゴリ別で保育をさらに深めます

## 国の動き

34

国の動きを読む！ 研究者の目 2023  
〈こども家庭庁編〉

こども施策の策定等への  
こどもの意見の反映について

36

地域別  
持続可能な園になるために 2023

保育や授業を参観し、  
話し合っつくる  
幼保小接続のカリキュラム

## 園経営

42

コンサルタントが読み解く  
新時代の園経営 2023

これからの園経営・運営における  
「ヒト」の重要性  
～安心して働ける職場環境とハラスメント～ ②

44

“質”を高める危機管理  
～生活も保育も質を向上させよう

【計画性】保育の中の計画性

## 人材育成

46

園のリーダーのためのリスペクト型マネジメント  
子どもを真ん中に 園づくり・まちづくり

「まちが保育園」にチャレンジ！

50

「人格」を軸とした人事と研修  
エリクソン ティール組織 東洋思想から学ぶ

葛藤が人を磨く

54

人材育成  
わいわい語り場 II

学び、成長するチームとなるための  
同僚性づくり

## 保育内容

58

保育を深める  
編集委員のおすすめ書籍

『「利他」とは何か』

60

保育が変わる！  
保育環境の片付け

玄関

62

information

『保育ナビ』編集部からのお知らせ、  
『保育ナビ』読者からの声

65

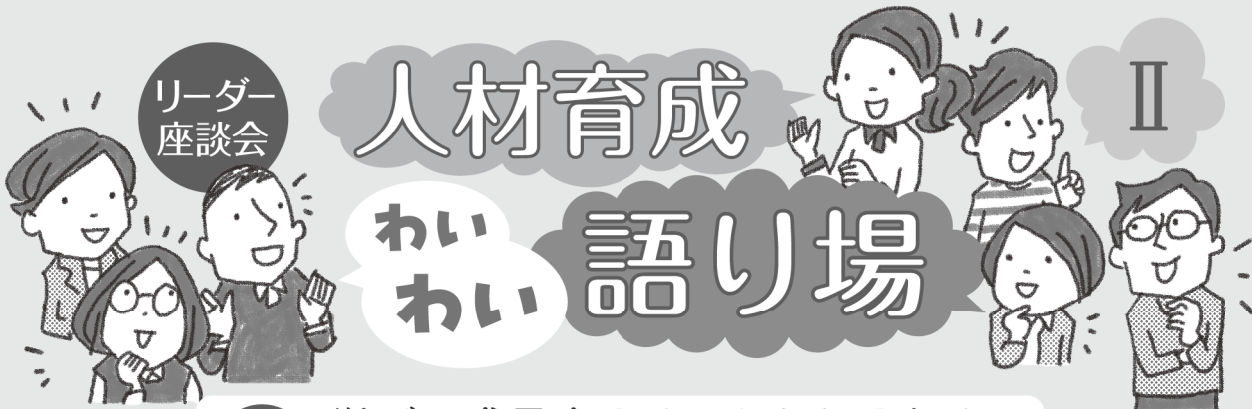
みんなの保護者対応！

発達の気になるBくんの  
保護者C(母)さん、D(父)さん

66

始めよう  
子どもの姿ベースの指導計画

子どもの興味・関心が  
見える指導計画



# 人材育成

## II

# わいわい語り場

第2回

## 学び、成長するチームとなるための同僚性づくり

どこの園でも、保育者の意識には温度差があるものです。今月は現場のリーダーにお集まりいただき、一人ひとりの個性を伸ばし、チームとして成長していくための工夫や大切にしていることについて語り合っていました。

職員同士の語り合いを大切にしています。子どもを真ん中に置いた語り合いをすることがいちばん効果があります。

安達かえで先生

3

今月のコーディネーター  
北野幸子先生  
(神戸大学大学院)

職員間で経験や意欲に違いがあると思いますが、一人ひとりの個性を伸ばし、チームとして育てていくにはどうすればいいでしょうか？

1

若手

こんなときは？

ふむふむ

うんうん

ベテラン

若手とベテランをつなぐ中間層が少ない職員構成なので、若手の意見を意識して拾うようにしています。

本島真理子先生

4

新人

ベテラン

3年目

行事の担当などは、学年や担当を越えた者同士でチームをつくり、様々なつながりを強化する工夫をしています。

自園ならではの「習慣・文化」を立ち止まって考える研修をしました。

岡部祐輝先生

2



安達かえで  
(あだち かえで)  
幼保連携型認定こども園せんりひじり幼稚園副園長。共に保育を楽しむために、対話し学び合いを続けていくことが、結果的に仲間が育つことにつながると思っています。



岡部祐輝  
(おかべ ゆうき)  
幼稚園型認定こども園高槻双葉幼稚園教頭。良さや強みはチームのために活かし、苦手なことは互いにカバーし、高め合える組織づくりをめざしています。



本島真理子  
(もとしま まりこ)  
幼保連携型認定こども園日吉幼稚園教頭。ウキウキ！ワクワク！がいっぱいな園で子どももおもしろい！保育が楽しい！と感じられる職員集団をめざしています。





北野

職員間で経験や意欲に様々な違いがあるなか、一人ひとりの個性を伸ばし、チームとして力強く育てていくためにはどうしたらよいのでしょうか。

まずは、それぞれの園で工夫をしていることをお話しください。

### 職員同士で語り合い、関係性を深めていく

職員の様子を見ると、同じ学年同士、つまり横の交流は多いけれど、縦の交流は少ないと感じています。

そこで、行事の担当などは、学年や担当を越えた者同士でチームをつくり、様々なつながりを強化する工夫をしています。

またほかにも、ミドルリーダー層が企画の中心となり、会話が活性化するように様々なメンバーで話せる機会を設けています。

数年前には、自園ならではの「習慣・文化」を立ち止まって考え



岡部



安達

る研修をしました。昔から何となくそう決まっていたけれど意味がわからなかったり、明文化されていなかったりする不思議なルール、どこの園にもありますよね。それをトップリーダー層も入って一緒に考える会でした。

その結果、園の当たり前を問うことができ、私たちの日頃の仕事を直視し、考えを共有することができました。

職員同士の語り合いを大切にしています。同僚性づくりでいけば効果があるかなあと思っている子どもを真ん中にした語り合いです。

写真や動画を見ながら、子どもの姿からどのような育ちが見られるかワイワイ語り合います。基本的にお互いをリスペクトする関係性の中で子どもの育ちを喜び合っていて、次への保育を考えていくことで仲間意識が高まっていくのかなあと感じています。



本島

うちの園の職員構成は、若手とベテランに偏っているんです。若手とベテランをつなぐ中間層が少ないので、若手の声を意識して拾うようにしています。月に1回ほど1〜3年目の職員を集めて「今、どんなことがしんどい？」と聞いてみるなど。悩みや不安を語りやすい雰囲気をつくっています。

人材育成にかかわり、皆さんに共通しているワードは「語り合い」ですね。語り合うことでチーム力も上げていくのですね。

では、語り合いの質を上げていくために管理職として大事にしていることはありますか。

「うんうん」と頷きながら共感することでしょうか。どんな言葉も受け止めてもらえるという安心感と信頼関係があれば、話しやすくなると思います。

保育者一人ひとりの自分もつ強みや、チームとしての強みや資源にフォーカスしたアプローチを



岡部



安達



北野

プロフィール●北野幸子(きたの さちこ)／神戸大学大学院人間発達環境学研究所人間発達専攻教授。研究分野は、乳幼児教育学、保育学。子ども、特に、乳幼児(0〜8歳くらい)の遊び・生活・学びの内容や、乳幼児を教育する専門職の専門性について研究する。国内外の保育仲間と共に、保育の質の向上に積極的に取り組む。

大事にしています。

子どもだけでなく大人も、自己発揮して自己実現を図る権利があるということですね。職員同士、お互いを尊重し、人権意識をもち合うことが大切ですね。

### 職員一人ひとりを認め、一緒に考える姿勢を大切に

一方で、なかなか学びを深められない、気づきに至らない職員もいるのでは？ そういった方への対応はどうしていますか。

やりにくさや難しさを感じているけれどもどうしたらいいかわからないことってよくあると思うのですが、若手保育者が悩んでいたらミドルリーダーが「みんなの悩み」として取り上げて園内研修につなげてくれたりしています。

学んだことを自分事に置き換えることの得意、不得意はあると思います。大切なことは、職員と共に目的位置を共有し、どのような



北野



北野



安達



岡部



本島

ルートをたどればよいか、職員の考えや捉え方に伴走していく支援が大事なかなと思います。

私たちがその職員について課題だと思っていることと、本人が課題だと思っていることが違うことがあります。その場合は、本人が克服しようと努力していることはそのまま認め、本人の良いところをほめてから、「もう少し、ここはどうかなあ」「あなたはこう思う？」などの言い方でこちらが課題と感じていることをソフトに伝えていきますね。

うまく伝わらない時は、リーダー会議でその職員への対応を話し合ったりしていますが、伝わらない人にはなかなか伝わらない。難しさを実感しているのが現状です。

なるほど。伝え方次第では関係が悪くなってしまうこともあるので、悩みますよね。職員に助言・指導する時に気を付けているポイントはありますか。



安達

話の視点を子どもに置くと、前向きに話し合うことができると思っています。保育の良し悪しよりも、子どもの姿を見ながら、「どうしてほしいのかなあ」とかわり方を一緒に考えて気づきを支えます。子どもをいちばんに考える気持ちはみんな同じなので。

子どもの姿がこうであるというのは事実ですから、ストンと入りますよね。

大前提として、相手を言いくるめるような指導は、良い指導ではないと考えます。援助する相手が必要なステップを踏み出す気力をもつことができるように、「どうしていいか」を共に考えます。「園のみんなと一緒に私も頑張ろう」と思ってもらえれば。

職員とは「一緒に考える」という姿勢を大事にしています。今、上から目線の言葉かけをする職員はいまないので、職員同士の関係性はつくりやすく感じています。



北野



北野



岡部



本島



本島

真面目な要素だけだとつらくなるので、楽しいこともどんどんや



岡部

園のトップ層が良いも悪いも雰

囲気や文化をつくってしまうことがあると考えます。当たり前と思



安達

リラックスできる雰囲気の中

で自分らしさを出してくれたらいいなと思って、職員室を少しリ



北野

## 保育以外の楽しいことも一緒にやってみる

同僚性を育むために、ほかに何か工夫されていることはありませんか？

## 北野先生まとめ



トップダウンの指導ではなく、対話を大切にした人材育成を

人材育成にあたって、先生方が一人ひとりの保育者を尊重しておられること、大切に思われていることに心打たれました。個性を活かした自己発揮、有用観、そして保育にとどまらない園見学や遠足の視察等のエクスカーシ

るうと言っています。講師を招いてリース作りをしようとか、園が少し負担しておいしいものを食べる会をしようとか。



北野

皆さん、いろいろな工夫をしていらっしゃるんですね。具体的なお話、勉強になりました。ありがとうございました！

# information

## 『保育ナビ』編集部からのお知らせ

『保育ナビ』編集部では、4つのメディアでも  
保育情報を配信しています。

『保育ナビ』  
の  
情報をもっと!

『保育ナビ』の公式サイト

<https://www.hoiku-navigation.com/>



『保育ナビ』の公式 Facebook

<https://www.facebook.com/froebelkan.hoikunavi/>



『保育ナビ』YouTube チャンネル

[https://www.youtube.com/channel/UCP4zj6p\\_z7LQ-G0ecoFY1fQ](https://www.youtube.com/channel/UCP4zj6p_z7LQ-G0ecoFY1fQ)



メールマガジン「保育ナビ倶楽部」

<https://www.hoiku-navigation.com/news/naviclub2023/>



『保育ナビ』年間購読者限定のメールマガジン「保育ナビ倶楽部」(登録無料)。保育に役立つ情報をタイムリーにお届けします。

- ①園経営から保育エッセイまで、保育に役立つ情報を配信
- ②『保育ナビ』と連動した解説動画のお届け
- ③『保育ナビ』最新記事情報
- ④保育オンラインセミナー・商品情報

# 保育ナビ

# 「保育ナビ」読者からの声

「保育ナビ倶楽部」の会員の皆さんから届いた、エピソードを紹介します。今回のテーマは、「印象に残っているエピソード」です。

読者の皆さんのエピソードをお待ちしています！

「保育ナビ倶楽部」に登録する（詳細は右ページ）か、保育ナビ公式サイトのお知らせ欄をご確認ください。



## 保育ナビ